

74 新破天荒



令和四年版
創刊 第 2 号

入学後一か月から みえるもの

姫路南高等学校に74回生が入学して早や一か月。保護者の皆様の中には、日々の学校生活に向かっているお子様の姿がどのように映っておられますか。

中学校までとは異なり、目に見える景色が大きく広がっている毎日に、様々な社会活動、地域の中の自分たちの立ち位置、社会から放たれているエネルギーをどう捉え、どう感じ、それらの中でどう藻掻いているように見えているかを、保護者の皆様からも是非お聞きできる機会があればと思います。

生徒の皆さんはどうでしょう。与えられる環境、道具、権利などは、中学校とは比べ物にならないと思います。その嬉しさで、見るべきものが見えなくなっている一か月であったかもしれません。

時に思うままに突っ走れることは、若さの特権でもあります。一か月というこのタイミングに、少しだけ立ち止まってみましょう。

権利には義務という言葉が並べられますが、皆さんには「義務」ではなく「責任」という言葉で、自由を捉えてほしいと思います。一番に感じる自由は、「スマホ」という道具を通じた権利だと思います。仲間を増やす、社会を広げるための**武器**として

使用していた物が、ふと振り返れば、増えた仲間に対して、誹謗・中傷したり、からかいの度が過ぎる行動をしたり、グループからブロックをして結果的に仲間外れと言われるようなことを起こす **凶器**と呼ばれるような使い方になっていませんか。各々の個性を大切に現代社会だからこそ、簡単に「好き、嫌い」、「相性が悪い」と決めつけずに相手の良さを認めていくことができる集団に成熟していったほしいものです。と言っているこんな話は杞憂であるのが一番ですが。

学習のペースは掴めた？

学習についてはどうですか。学習環境の整理や、学習時間の確保など、意欲的に学習に取り組もうとする様子は、例えば「スタディサプリ」の申込人数からも伺えます。

一方、提出されている課題からは次のようなことが見て取れます。それは、答え合わせの結果が「すべて○（正解）」、「すべてが×（赤字記入）」、「見直しは正解の答えのみ」。

「この課題に自分はあるのか？」とは、どこかのコマースシャルの一説のようですが、課題提出完了のためにこのような作業が繰り返される限りは、いつまでたっても学力とはならず、繰り返される課題に取り組む心も薄れて、「課題が多い」、「課題の意味を感じない」、「課題を課せばいいと思っているのか」というような発言をされたものです。これはどの勤務校でも経験しました。さらには、憎さ百倍で、「同じ内容の学年通信を保護者用、生徒用に印刷するなんて紙の無駄だ」と、課題への苦情と何の関係があるのかなと思うことも。上手くいかない時は、そう言いたい気持ちも分からないでもないですが、違う努力ができるかということ、なかなか難しいものです。

追う夢は叶う
見る夢は醒める

まずは姫路南高校での最初の夢を達成するために、勇気を持って踏み出した第一歩を乗り越える、次の一歩の踏み出しを追い続けましょう。気付けば、夢が目標に変わっているものです。

さあ、ゴールデンウィーク後半。提出課題に振り回されることがないように、計画性を持った毎日を通して、次は6日に会いましょう。



遅ればせながら、入学式当日の学年団の写真です。右から大谷睦美(5組担任)渡会雄士(4組担任) 寺脇響彦(3組担任)荒内秀明(学年主任)井上三帆(1組担任)および学年副主任)名村香織(2組担任)押切孝雄(学年副主任)です。

5月の予定

十日(火) 教育相談

十二日(木) 生徒会役員選挙

十七日(火)～二十日(金) 中間考査

二十三日(月) PTA総会

二十四日(火) 教育実習開始

二十七日(金) 尿再検査①

二十八日(土) 尿再検査②

なお、今月どこかのタイミングで、進路希望調査を行います。それを受けて、個人面談等を行います。

進路実現に向けて、いまやるべきことを具体化し、高いモチベーションを持って、中間考査に備えていきます。

各部各係から

生徒指導

指導の原則は、『面接試験に臨める状態を心掛ける』

ことです。言葉の捉え方で、個々の品性をおとしめることのないように、当たり前のレベルを高めていきます。普段の生活から、相手に微笑みかけるように、挨拶、適切な言葉遣いを習慣づけましょう。その中でも、ポイントをきいてついでに指導の内容をお知らせします。

服装について

ボタンをきちんと留める
スカート、ズボンの裾を折らない

「登校前、着たときから」
「帰宅後、脱ぐときまで」

制服更衣の移行期間なし、式・行事毎は規定あり
休日・長期休業期間中は、学習以外の登校時は、体操服・部活動のジャージ可

頭髮についての禁止事項

染色・脱色・加工

ヘアアイロン等の過度な使用

一部分が極端に長い・短い など

持ち物について

スマートフォン

校内では電源を切って鞆の中に入れておく

鞆につけるキーホルダーは一人一個

下校時間について

3学期学年末考査終了後〜2学期末考査前

「十八時三十分」

それ以外

「十八時」

条件に応じて「三十分の延長可」

アルバイトについて

原則禁止。家庭の事情等、やむを得ず申請をして許可が下りた場合は可。ただし、学業成績が不振に陥ったり、問題行動を起こした場合は、許可は取り消されます。また、無断アルバイトは、発覚した時点で特別指導の対象です。

進路指導

近々、進路希望調査、生活実態調査を行い、生徒との個別面談等を行っていきます。

主に朝の小テストも、ゴールデンウィーク明け辺りから行っていきます。基礎学力定着の徹底に努めていきたいと思えます。

文系・理系希望の調査も、夏休みの面談を受けて、二学期当初には実施します。漠然と希望調査に臨むと、自分の夢の話さえできなくなることもあり得ます。自分の特性、希望をしっかりと明確にして、適切な進路実現の道を選ぶよう、情報収集のアンテナを高くして、自分磨きをしつかりしておいて下さい。なお、希望補習等についても追々連絡をしていますので、よろしく願います。



4月14日(木)
オリエンテーションの最後に親睦ドッジボールを行いました。
男子の優勝は・・・3組

教務

出・欠席について

一か月を終えて、生徒の出欠状況は安定しています。このまま当たり前の毎日が続くことを期待します。

特に感染症など定められた疾病の場合は、出席停止となります。平日のワクチン接種、副反応による欠席も出席停止の扱いとなります。他には、事故等による交通機関の遅延等に際しても、公認遅刻となりますが、登校の際に職員室にてその旨を申し出てください。

欠席や遅刻の連絡

「七時五十分から八時十五分」

評価について

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点を、それぞれA〜Cの三段階で示し、それらを総括して五段階評価を行います。

通知表の表記については、改めて連絡をします。

天候による臨時休校について

登校日に午前六時以降で、姫路市に

暴風・大雨・洪水・大雪警報

のいずれかが発令されている場合、以下の取り扱いになります。

- ① 午前十時以降も発令中 一日臨時休校
- ② 午前八時から十時にすべて解除 五時間目から授業
- ③ 午前八時まですべて解除 三時間目から授業

姫路市以外に居住する生徒は、姫路市に前述した警報が発令されていなくても、居住する地域や市町に前述の警報が発令されている場合、当該の

生徒は自宅待機で、公認欠席扱いとなります。

なお、午前十時までに、前述の警報がすべて解除となった場合は、安全に気を付けて登校をすること。

保健

新型コロナウイルス感染症禍、まん延防止等重点措置が解除されたとはいえ、若年層を中心に感染者数は下げ止まった感は否めず、予断を許しません。

教室での黙食は、中学校からも徹底されているように、きちんと守って来ています。

マスクの着用も、校内では意識してくれているようです。手洗い、消毒もよく意識をしています。後には菌が侵入しやすい場所(目・鼻・口)を洗う(洗顔・うがい)ことを徹底することで、学校生活が止まることを、少しでも防ぐこととなります。

二年前に初めて感じた、「学校生活が止まる」ことの辛さは、生徒のみんなには、もう味わってもらいたくない。

そのためにも、「当たりまえでいられる幸せ」を大切にしたいし、その「当たり前」を、自分たちの自然な行動で得続けてほしいものです。

教育相談について

月に二回設けられています。頑張ることも大切ですが、話すことで楽になることもあります。人数に限りはありますが、機会が生かせるときには申し込んでみてはどうですか。保健室にも相談することがありますね。もちろん、保護者も必要に応じてご利用ください。



親睦ドッジボール
女子は・・・2組

良い空気抜きになって
翌日からの通常授業に
突入してくれたと思います

トピックス

ゴールデンウィークを前にして、高校改革の目玉の一つ **タブレット** が、本校74回生に届きました。

授業の中で、どう効果的に使うか、使えるか楽しみです。調べるばかりでなく、授業の内容を残すことも工夫してほしいものです。

「見られる」を科学する

姫路南高校での通常の生活が少しずつ落ち着いてきた四月下旬のある日の朝、外部の方からお電話を頂きました。戦々恐々、「苦情？」と思わず構えて電話を取りました。が・・・。

その内容は、一年生のある女子生徒が、その前の週末に「七十歳過ぎの認知症を患われた女性が道端で転倒し、血を流されてそのまま倒れられていたところ、その生徒が女性に寄り添い、介助してくれた。

最近そのような微笑ましい光景を見ることはないの
で、学校に是非伝えてあげたいと思いい、本人にもそ
う伝えて電話をさせてもらった」とのことでした。

生徒本人にしてみれば、自然の行動であったと思
いますが、その姿を「見る」「見られる」立場で捉え
方も大きく変わります。どうせなら、肯定的に「見
る」「見られる」行動を取ることが望ましいですが、

例えば、授業中。換気を考えて、天窓や外側の窓は
開けてあるのに、朝開けてある廊下側の窓は、学校
生活に慣れるとともに不思議と閉まるようになるの
は何故なのでしょう。

他には、私達もそうなのですが、他者と目を合わ
す合わさないのは、その他者に対して要々だけの
ものなのでしょう。

やはり、「人の目」は自分に勇気を与えてくれる
こともあります。どちらかと言えば、人に「どう
見られているのだろう？」「こんな風に見られていた
らどうしよう」と考えてしまうことの方が、圧倒的
に多いのではと経験的に思います。

前述の生徒のように、どの生徒にも自然に取れる
行動があります。その行動の幅を少しずつ広げてい
くのに「見られる」「こと」を利用してみればどう

かと思えます。

「見られる」ということを意識すると、反対の
「見る」ことも意識します。つまり、自分の目の
前の景色が広がることにもなりますね。それは何を
意味するか。自分の経験値が上がることになるとい
うことです。

「こうなりたい」、「一生懸命にこれをした」と
いう大目標に対して、「見られる」、「ここを見
てほしい」という具体的課題を持って日々の生活に
臨むと、意外と「他人はどう見ているのか？」と
いう悩みに振り回されることがなくなっていくもの
だと思えます。

こういったことは、経験則に基づくものなので、
「どう見られているのだろうか？」で悩まされてい
る人にとっては、今すぐには理解も納得もできない
と思えます。が、ときどき、自分の姿を別の自分に
「見せる」、「見てもらう」ことをしてみると、
自分の成長を感じることができると思えます。

大切なことは、良くも悪くも自分に起こっている
小さな変化をどう感じるかです。その変化こそが成
長と呼ばれるものとなります。

「見られる」ことは、自分を否定することでは
ない。まずはこの三年間をきっかけにして、自分
を高めるために

「見られる」を

様々な視点から科学してください



。。。の勧め

デジタル化が進む一方で、読書を中心とした活字
離れが進んでいます。「スマホでも小説は読めるし」
という生徒もいるかもしれません。

もちろん私の学生時代には、スマホのような夢の
マシンはありませんでした。ただ、高校時代を振
り返ると、私たちの武器は、重くて太い何冊もの辞
書でした。紙辞書で引かれた多くの単語は、海の
藻屑と消えましたが、引かされる行為の途中で寄り
道して目にした単語や文章・文法は、何故か忘れる
ことなく、いや、ふと記憶によみがえる摩訶不思議
な現象が起こります。こんなことが起こるのは私だ
けかと思ったら、同年代の人たちには決して不思議
な現象ではないようです。保護者の皆様は、いかが
ですか。共感されることがあれば嬉しい限りです。

世の中は、無駄という無駄をスリム化し、限りな
く効率を優先しています。そのため、道は進むべき、
というよりも、最初に見た道しか自分には認められ
なくなっている事実も拭えません。

皆さんの頃は、いよいよ人生百年時代かもしれま
せん。そう考えたときに、その百年をどう有機的に
生きていきますか。無駄のない毎日を百年過ごす。
私には想像ができません。

結果に繋がらないものをすべて無駄と切り捨てる
より、そこで感じるものが何かの役に立つ、あるい
は、心を豊かにしてくれるものになると思えます。
それに、紙をめくる指先の感覚もなかなか良いもの
ですよ。残念ながら、最近提出課題からも、心地
よい紙をめくる感覚を味わえなくなっているのが寂
しい限りですが。

さて、問題。今回は「何の」勧めでしょうか。

共通テストから浮かんできたもの 過去2回より

過去二回の共通テストの各実施前に、共通して発信されたトピックスは、「平均点を下げる」ということです。コロナウイルス禍での共通テスト一回目は、問題の傾向は大きく変わったものの、大学入試センター側の目論見に反し、困難な一年を過ごした受験生のエネルギーが、例年並みの平均点という結果を導きました。それを受けて、前回の共通テストでは、多くの受験生の心を折るような平均点となるテストでした。

さて、ならば共通テストは難化したのでしょうか。私は数学担当ですが、重犯罪を犯したような平均点となった数学の問題が難化したかという点、そうではありません。では、平均点は下がったのは何故でしょうか。それは、内容の難化ではなく、処理作業量の莫大な増加にあります。

この傾向は今後も続くと思います。そのための対策は何か。それは、文章を読み取る力、計算処理速度力、判断する力を、今まで以上に上げることだと思います。

つまり、身に着けるべきが増えるというよりは、今まではある程度時間をかけて思慮することができたことを、制限された時間の中で処理をする練習が必要になります。

したがって、「さあやろう」と言われた言葉からの行動ではなく、主体性を持って自らその時間を見つけ、活動することを意識して、姫路南高校での学びを進め、深めてください。

これは国公立、私立、短期大学だけに留まらず、専門学校、公務員、就職であっても、これからの時代は、どの社会、企業、教育機関においても、大きなスキルとして要求されます。共通テストを受ける、受けないの基準で、身につける必要がある、ないというものではないので、しっかりと身に着けることを

求められる一つの技能とお考えください。

大学に進めばよづのか

進んだ大学で 社会で羽ばたく力 つけたいのか

ともすれば、人生は百年時代です。長い年月を与えられる一方で、物事の処理能力の高さを優先される、時間に振り回されるような時代のように見えて仕方ありませんが、それでも74回生も早や二年後までには、自らの進路を具体化し、実現に向けて努力をしなければなりません。

そのときに、近未来の目標達成（つまり進学先の早期決定）を優先するのか、人生で自分に残していきたい道（いわゆる具体的な職業観）にこだわる将来の設計図を描いて、今の自分を活かす進路を実現し、そこでの学びを大切にできるのか。その答えは、自分の人生のどこかでしか得ることができませんが、短絡的な判断での進路設定をすることがないように、「なりたい自分」探しをしっかりとしてほしいと思います。

そうは言っても

先日、中学校を卒業したところで、自分の将来を深く考えることは、少々酷ですよ。何がしたいのか、「目標はないのか」など、私たちの高校時代でも、境界人やモラトリアムなどとよく言われたものです。そういった生徒たちに対応するように、大学も将来設計に猶予を持たせ、学びながら将来の道を具体化させていくような学部創設が、国公立大学を

中心に成されています。いわゆる文理融合系学部なるものです。是非調べてみてください。勿論、それを希望する受験生は多いのですが、遠い未来の自分を考えた時、そんな選択肢もあります。地力を蓄えてほしいと思います。

こういった動きは、私立よりもやはり国公立の方が顕著で、しかも少人数を謳っています。いくつか紹介します。どんな学びができるのか、自分で情報を仕入れてみましょう。

- ・滋賀大学データサイエンス学部
- ・広島大学総合科学部
- ・愛媛大学社会共創学部
- ・宮崎大学地域資源創成学部
- ・九州大学共創学部
- ・山口大学国際総合科学部
- ・徳島大学総合科学部 など

ところで

あるあるなのですが

兵庫県立大学環境人間学部ってどんな学部なのでしょう。合格偏差値基準は高い。地域周辺の高校生の希望も多い。でも・・・。「何でもできる」と聞くこともありますが、その実態を意外と窺い知ることはいけません。工学部・理学部・看護学部と、地域との連携も深い他学部に比べて、不思議に思うのですが、本当に行きたい大学・学部にするならば、自分のしたい「何」ができるのかをしっかりと調べ、目指してもらいたいと思います。

一番身近な国公立大学学部ではありますが、よくよく考えて、自分のために「したい何か」ができるかどうかを見抜いてください。

お知らせ

学年通信について

原則月一回、月初めに発行します。もしもできないときは、「有言実行！」と叱咤激励をお願いします。

同じ内容ですが、保護者用にコピー用紙印刷分生徒には更紙印刷分を配布します。二部用意する理由は、生徒、保護者ともにお手元でいつでも見られるようにという理由です。

この一年の目標

不平・不満を言いながらも、生徒たちが学校に足を運ぶ雰囲気・環境を整えることです。成長過程で生徒に要求すれば、ときには不満も出ます。要求することは要求しながら、生徒たちが学びの場を大切に空間を、提供することを大切にします。

自らを鍛える集団

欲を持ち、自らの可能性を広げようと取り組む集団となってくれることを目標にします。

次号は6月1日（水）発行予定です